請求の範囲

[請求項1] ｐ－ボロノフェニルアラニン又はその薬学的に許容される塩を含有するホウ素中性子捕捉療法用注射液剤の析出防止方法であって、

ｐ－ボロノフェニルアラニン又はその薬学的に許容される塩、糖アルコール、及びｐＨ調整剤を含有し、ｐＨを７．５超過８．０以下に制御された注射液剤を調製することを包含する、析出防止方法。

[請求項2] ｐ－ボロノフェニルアラニン又はその薬学的に許容される塩を含有するホウ素中性子捕捉療法用注射液剤の析出防止方法であって、

ｐ－ボロノフェニルアラニン又はその薬学的に許容される塩、糖アルコール、及びｐＨ調整剤を含有し、　該ｐＨ調整剤として少なくとも１種の有機酸又はその塩を含み、ｐＨを６．５～８．０に制御された注射液剤を調製することを包含する、析出防止方法。

[請求項3] 前記糖アルコールが、ソルビトール又はマンニトールである、請求項１又は２に記載の析出防止方法。

[請求項4] 前記糖アルコールの濃度が、２．６～６．５ｗ／ｖ％である請求項１～３のいずれか１項に記載の析出防止方法。

[請求項5] 前記糖アルコールの含有割合が、ｐ－ボロノフェニルアラニンの含有量に対して、モル比で、０．９から３．０までの範囲である、請求項１～４のいずれか１項に記載の析出防止方法。

[請求項6] 前記有機酸が、クエン酸又は乳酸である、請求項２～５のいずれか１項に記載の析出防止方法。

[請求項7] 前記有機酸又はその塩の量を、注射液剤の０～８．３ｗ／ｖ％とする、請求項２～６のいずれか１項に記載の析出防止方法。

[請求項8] 前記注射液剤が、静脈注射液剤である、請求項１～７のいずれか１項に記載の析出防止方法。